第２次
七尾市総合計画

－概要版－

第２次七尾市総合計画策定の趣旨

平成 16 年（2004 年）10 月の合併により「七尾市」が誕生し、平成 21 年（2009 年）3 月に策定した「第 1 次七尾市総合計画」で将来像に掲げた「人が輝く交流体感都市」の実現に向け、様々なまちづくりの取り組みを進めてきました。

しかし、計画策定から 10 年が経過する中で、少子高齢化の進展、地方における人口減少、中山間地域の荒廃、空家・空地の増加など、数多くの新たな課題への対応が求められています。

こうした中、のと里山空港の開港、北陸新幹線金沢開業、のと里山海道の無料化、能越自動車道の延伸など広域交通網の充実により、本市の拠点性は飛躍的に高まっており、さらには、日本で初めて世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」、ユネスコ無形文化遺産に登録された「青柏祭の曳山行事」など、七尾市の魅力が世界から評価される機運が高まってきています。

そこで、本市の魅力を最大限に活かしながら、市民が将来にわたって安心して住み続けたいと思えるまちづくりを進めるために、今後 10 年間のまちづくりの基本的な方向性を示した、「第２次七尾市総合計画」を策定するものです。

計画の期間と構成

【計画の期間】

総合計画の期間は、令和元年度（2019 年度）から令和 10 年度（2028 年度）までの 10 年間とします。

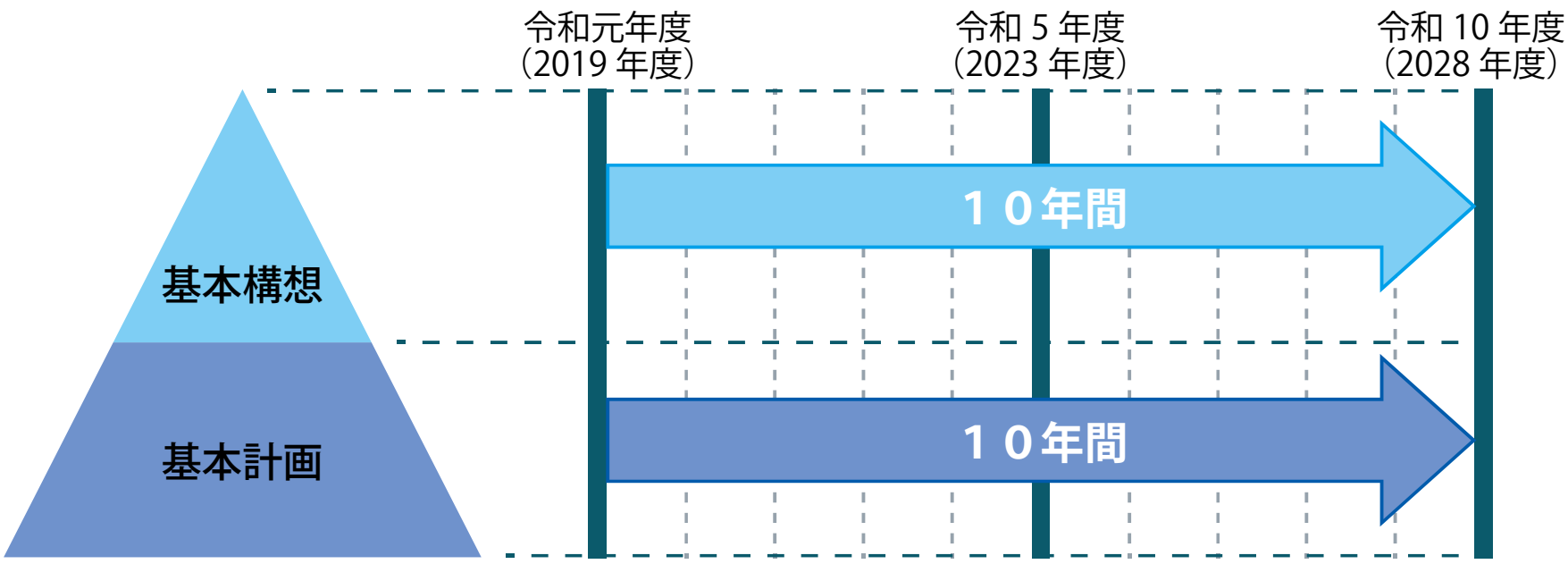
【計画の構成】

総合計画は、基本構想と基本計画で構成します。

①基本構想は、まちづくりの基本理念と目指す将来像を掲げ、その実現のためのまちづくりの目標を示すものです。

②基本計画は、基本構想で示したまちづくりの目標を実現するための施策の方向性を具体化し、各分野別の施策を体系的に示すものです。

七尾市総合計画は、「基本構想」、「基本計画」の２つの部門で構成します。

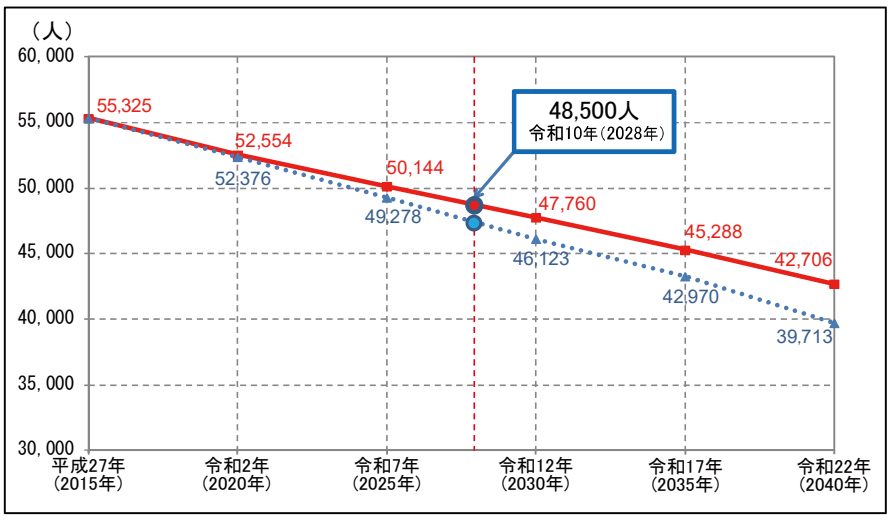


目標人口

国立社会保障・人口問題研究所の日本の地域別将来推計人口（2018 年推計）によれば、第２次総合計画の目標年次である令和 10 年（2028 年）における七尾市の人口は、約 47,000 人まで減少する見込みです。

人口減少は将来のまちづくりに多大な影響を及ぼす可能性があります。このため出生率を改善させるとともに、人口流出を抑制し、定住人口を着実に増やすことで転出と転入のバランスを図るための重点的かつ戦略的に各施策を展開する条件で推計した政策的人口 1,500 人を上乗せし、令和 10 年（2028 年）における七尾市の目標人口を 48,500 人と設定します。

【本市の将来人口目標】



基本構想

【まちづくりの基本理念】

〔 市民のねがい　― 七尾市民憲章 ― 〕

古き歩みを誇りつつ
文化の薫るふるさとに
豊かな未来夢ひらく

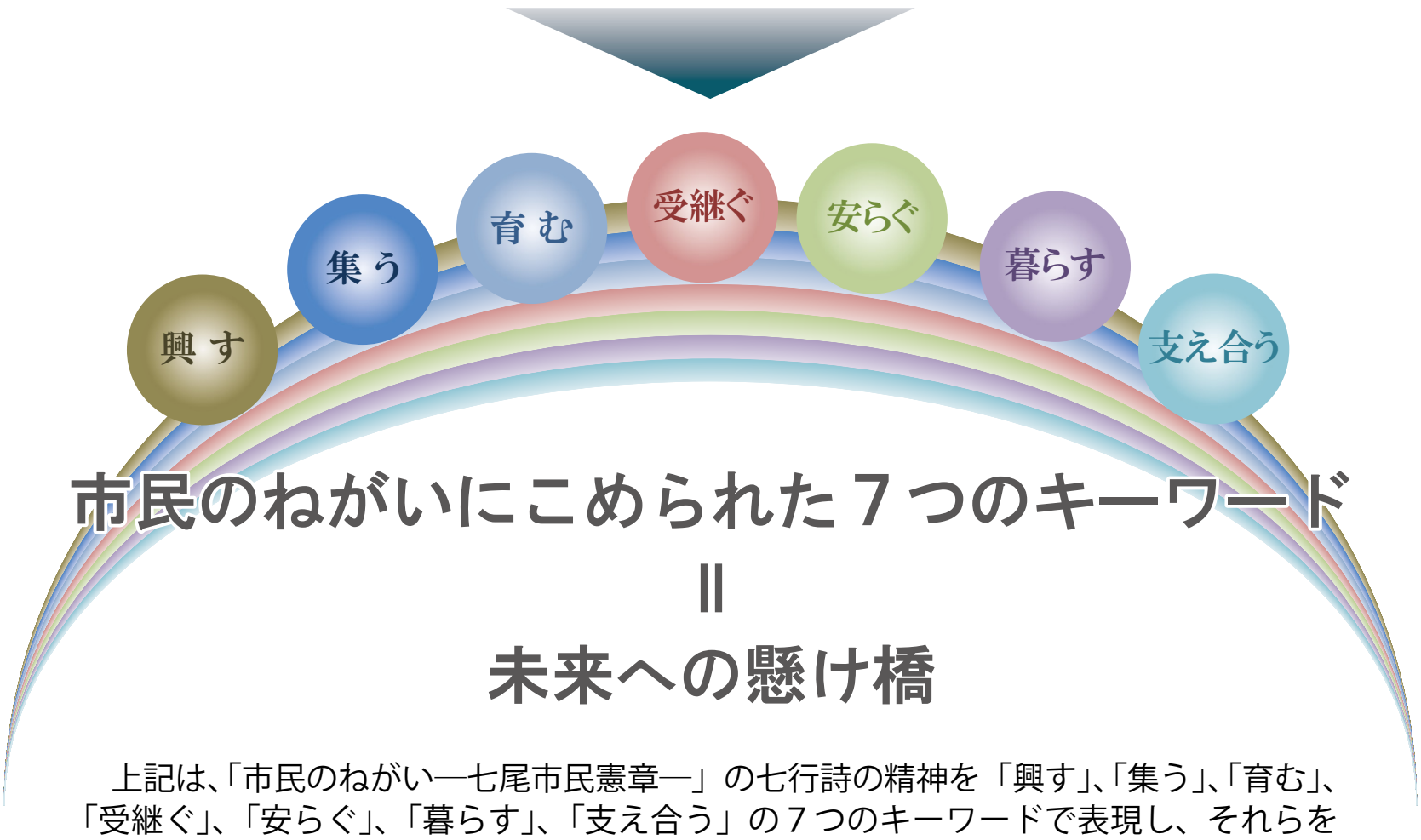
なみおだやかに碧光り
ななおのまちに人集う
おとなも子どもも手をつなぎ
しあわせの和を広げよう

七尾市は、平成 18 年（2006 年）9 月 21 日に「市民のねがいー七尾市民憲章ー」を制定しています。この市民のねがいには、ふるさとの文化や自然を大切にし、みんなのしあわせを願い、安心とやさしさにつつまれた、夢あふれる未来に羽ばたく七尾市を実現するという市民みんなの想いがこめられています。

こうした想いは、時代に流されることのない不変不朽なものであり、第２次総合計画の基本理念として「市民のねがいー七尾市民憲章ー」を掲げることとします。

【目指す将来像】

能登の未来を牽引し 七色に輝く 市民活躍都市 ななお



市民のねがいにこめられた７つのキーワード
＝
未来への懸け橋

上記は、「市民のねがい―七尾市民憲章―」の七行詩の精神を「興す」、「集う」、「育む」、「受継ぐ」、「安らぐ」、「暮らす」、「支え合う」の７つのキーワードで表現し、それらを七色の虹（未来への懸け橋）でつなげることで、目指す将来像を図式化したものです。

七尾市は、日本海を臨む天然の良港として古代から栄え、能登の政治・経済・文化の中心地として発展し、豊かな自然と古くから培われてきた風土・歴史・文化を受け継いできました。こうした能登の扇の要としての役割を担いつつ、七尾に生きることに誇りをもち、大切な七尾を伝えながら、一人ひとりが夢や希望、目標をもって、その実現に向けて行動することで、七色に輝く七尾の明るい未来を切り拓きます。

私たちは、能登を牽引する役割を果たすとともに、この貴重な財産を次の世代に引き継いでいく責任を持ち、市民一人ひとりが夢や希望を持って活躍できる都市の実現を目指すうえにおいて、「能登の未来を牽引し 七色に輝く 市民活躍都市 ななお」という将来像を掲げます。

基本計画

Ⅰ 地域の宝を活かした市民がいきいきと働けるまち

魅力ある地域資源を最大限に活用して、地域に根ざした商工業や農林水産業の振興を図り、活気あふれるまちを目指します。

市民のねがいには、古くから能登の経済の中心地として発展し、歴史・文化や風土を受け継いできた中で、人々がいきいきと働き、活気にあふれるまちにしたいという想いがこめられています。

Ⅱ 住む人、訪れる人の流れをつくり人が集うまち

豊かな自然や歴史・文化などの地域資源やスポーツ施設などの交流拠点を活用し、七尾に多くの人を呼び込むとともに、移住・定住を促進し、住み続けたい、住んでみたいまちを目指します。

市民のねがいには、古くから培われてきた風土・文化を有してきた中で、民俗芸能や多くの祭りで賑わい、住む人も訪れる人も集うまちにしたいという想いがこめられています。

Ⅲ 次代を担う輝く子どもたちを総ぐるみで育むまち

出産から子育てまでの支援体制や教育環境を充実させ、ふるさと七尾の将来を担う子どもたちの健やかな成長を支えていくまちを目指します。

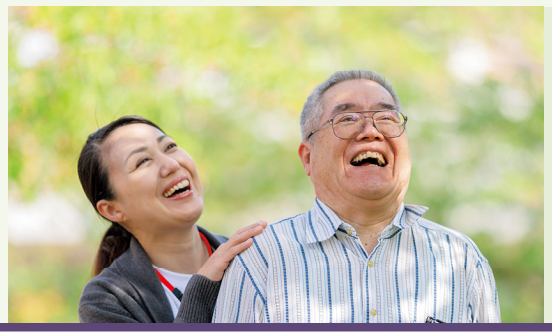
市民のねがいには、市民一人ひとりが夢や希望、目標をもってその実現に向けて行動し、家族や地域が一体となって輝く人を育む、豊かな未来へとつないでいくまちにしたいという想いがこめられています。

Ⅳ 恵まれた自然環境や輝かしい歴史・文化を守り伝えるまち

世界農業遺産に登録された「能登の里山里海」に代表される豊かな自然環境と多彩な歴史・文化を次代に継承していくまちを目指します。

市民のねがいには、豊かな自然を守り、古くから培われてきた風土・文化を受け継いできた中で、輝く自然や薫り高い芸術文化が生活に溶け込んでいるまちにしたいという想いがこめられています。

Ⅴ 福祉・保健・医療がいきとどき安心していきいきと暮らせるまち



高齢者福祉、障害者福祉、地域福祉を推進し、地域医療体制を充実させるとともに、介護予防や障害者の自立支援、健康づくりを促進することにより、誰もが安心していきいきと暮らせるまちを目指します。

市民のねがいには、子どもからお年寄りまで、障害のある人もない人もお互いに理解を深めながら、ふれあい、学びあい、手をつなぎ助け合いながら、誰もが笑顔で暮らすことができるまちにしたいという想いがこめられています。

Ⅵ 安全で快適に暮らせる生活環境が整ったまち

市民の暮らしを支える都市基盤や住環境の整備、防災・防犯体制の強化などにより、安全・快適で暮らしやすいまちを目指します。

市民のねがいには、家族や地域が一体となって誰もが笑顔で健康に、安心安全に暮らすことができるまちにしたいという想いがこめられています。

Ⅶ 支え合いのネットワークがはりめぐらされたまち

地域づくり協議会が中心となって取り組む支え合い活動を支援するとともに、誰もがまちづくりに参画するまちを目指します。

市民のねがいには、人と人、地域と地域が結び合い、みんなの幸せを願って支え合いながら、しあわせの和が広がるまちにしたいという想いがこめられています。

Ⅰ-1 商工業の振興

◆安心して働ける場の創出　◆地域に適した企業誘致活動の展開
◆地域資源を活かした商工業の振興　◆伝統産業の振興と承継
◆みなとのにぎわい創出　◆まちなかのにぎわい創出

Ⅰ-2 農林水産業の振興

◆安定した農業経営の確立　◆生産基盤の整備と農地の保全
◆魅力ある水産業の創出とブランド化
◆農林水産業における担い手の確保
◆鳥獣被害対策と利活用促進　◆豊かな森林資源の保全と活用
◆６次産業化の推進

Ⅱ-1 交流人口の拡大

◆ＤＭＯを中心とした観光地域づくりの推進
◆地域の特性を活かした観光の魅力づくりの推進
◆広域観光と外国人観光客の誘客促進
◆スポーツ施設などの活用や体験型旅行による交流人口の拡大

Ⅱ-2 移住・定住の促進

◆移住施策の充実強化
◆定住施策の充実強化

Ⅲ-1 少子化対策の充実

◆結婚への希望が持てる環境づくり
◆妊娠期から乳幼児期までの支援の充実

Ⅲ-2 子育て環境の充実

◆子育て支援体制の充実　◆保育環境・保育サービスの充実
◆子も親も共に育つ環境づくりの推進

Ⅲ-3 子ども教育の充実

◆子どもの健全育成　◆教育環境の充実
◆学校教育体制の充実

Ⅲ-4 生涯学習・生涯スポーツの振興

◆生涯学習の推進　◆生涯スポーツの振興

Ⅳ-1 豊かな自然環境と景観の保全

◆自然環境の保全　◆良好な景観形成
◆景観保全活動の推進　◆地球温暖化対策の推進
◆循環型社会の形成　◆世界農業遺産「能登の里山里海」の推進

Ⅳ-2 歴史・文化の継承

◆歴史・文化遺産の保全と活用
◆魅力ある歴史・文化遺産の情報発信
◆伝統的祭り行事の振興と担い手の育成
◆優れた芸術・演劇文化に触れる機会の充実

Ⅴ-1 健康づくりと医療の充実

◆生涯を通じた健康づくりの推進　◆医療体制の充実
◆医療保険制度の安定した運営　◆高齢者の自立と社会参加の促進

Ⅴ-2 高齢者福祉の充実

◆認知症施策の推進　◆介護支援体制の充実

Ⅴ-3 障害者福祉の充実

◆障害者の自立と社会参加の促進　◆生活支援体制の充実

Ⅴ-4 地域福祉･生活保障の充実

◆地域福祉体制の充実　◆生活保障の充実

Ⅵ-1 災害対策の充実

◆災害・減災対策の充実　◆ライフライン等の確保
◆災害未然防止対策の充実　◆消防力の充実　◆救急救命体制の充実

Ⅵ-2 消防･救急体制の充実

◆空き家対策の推進　◆防犯・交通安全対策の推進
◆消費者対策の推進

Ⅵ-3 住環境の整備

◆うるおいある生活環境の推進　◆安全で安定した水道事業の継続
◆循環のみち下水道の整備

Ⅵ-4 生活環境の充実

◆広域的な道路ネットワークの構築　◆市内道路ネットワークの構築
◆持続可能な公共交通ネットワークの形成

Ⅵ-5 交通体系の充実

Ⅶ-1 共助・協働によるまちづくり

◆地域づくり協議会を中心とした地域コミュニティの活性化
◆積極的な情報公開と市民参画の推進
◆様々なメディアを活用した広報広聴活動の充実
◆人権尊重と男女共同参画の推進

目標指標

目標指標名	基準値（平成 29 年度）	目標値（令和 10 年度）
事業所数	3,５１６事業所 （※平成 26 年度）	2,１００事業所
企業誘致数	2 件 （※平成 25 年度～平成 29 年度）	5 件 （※計画期間中の累計）
ほ場整備事業の整備率	６６.4％	８５.0％

目標指標名	基準値（平成 29 年度）	目標値（令和 10 年度）
七尾市への延べ入込数	３７５万人	４３０万人
合宿などの延べ宿泊者数	４６,７７４人	５８,０００人
市人口の転入と転出の比較	－２５５人	±0 人

目標指標名	基準値（平成 29 年度）	目標値（令和 10 年度）
合計特殊出生率	1.５８ （※平成 20 年度～平成 24 年度）	1.６９ （※令和 5 年度～令和 9 年度）
待機児童数 0 維持	維　持	維　持
基礎学力調査等で市平均が 県平均を上回る教科数	１４教科 （※１５教科中）	１１教科 （※１１教科中）

目標指標名	基準値（平成 29 年度）	目標値（令和 10 年度）
１人１日当たりの家庭系ごみ排出量	６４３ｇ	５００ｇ
七尾城跡の国指定史跡面積	２６.６ha	４０.０ha
七尾学講座年間参加者数	５２人	１２０人

目標指標名	基準値（平成 29 年度）	目標値（令和 10 年度）
特定健診の受診率 （国保加入者 40 歳～ 74 歳）	４５.６％	５５.０％
健康な高齢者割合 (65 歳以上で介護認定を受けていない人の割合）	８２.３％	７８.８％
就労継続支援利用者 （障害者の働く場の提供や就労訓練等のサービス利用者）	１７２人	１８８人

目標指標名	基準値（平成 29 年度）	目標値（令和 10 年度）
消防団員数	３９６人	４３３人
老朽危険空き家等解体撤去件数	４２件	３６０件 （※計画期間中の累計）
公共交通の利用者数	１７８.４万人	１６３.０万人

目標指標名	基準値（平成 29 年度）	目標値（令和 10 年度）
コミュニティセンターの 指定管理者制度の導入	－	15 箇所
地域づくりを担う新たな人材の育成	－	１２０人 （※計画期間中の累計）
審議会等における女性委員の割合	３２.９％	４０.０％